I·O DATA

USB2-miniRW
はじめにお読みください

M-MANU200256-01

このたびは、「USB2-miniRW」(以下、「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

使用上の注意事項

- ●アクセスランプが点滅中は絶対にメディアを抜かないでください。
  メディアに記録されている内容が消えたり、メディアが損傷する原因となります。
- ●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープの機能には対応しておりません。
- ●本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブの電源は必ずACアダプターを接続し、コンセントから電源を供給してください。
- ●ご利用の環境によってはUSBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。
  その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
- ●メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを行うことをおすすめします。
- ●本製品を使用中にデータを消失、破損したことによる被害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●メディアを取り外す時は、必ず本製品をパソコンから取り外してからメディアを取り出してください。
- ●本製品を同時に複数台ご使用いただくことはできません。
- ●本製品と他のリーダーライター製品と挿し替える場合は、抜いた後10秒程待ってから挿し替えてください。
- ●本製品をご使用にならない場合にはキャップをつけて保管してください。
- ●キャップを紛失しないようにご注意ください。
- ●本製品でメディアのフォーマットは行わないでください。フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。
- ●パソコン本体の形状により、本製品を本体のUSBポートに直接接続できない場合は市販のUSB延長ケーブルをご利用ください。(USBケーブルを使用される場合はデータ劣化の少ない品質のよいものやケーブル長の短いものをお使いください。)

箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

※箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

□ 本製品(1台)

アクセスランプ	●点灯時:メディアが使用可能です。 ●消灯時:メディアが未挿入です。 ●点滅時:メディアに読み書き中です。

●メディアの抜き差しは、本製品を手で押さえて行ってください。
●同時に使用できるメディアはスロットに1枚です。

☑ はじめにお読みください(1枚)(本書)

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて
ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

抽選でステキなプレゼントが当たります。ぜひ登録を!

対応機種とOS

注意 本製品をWindows 98(Second Edition含む)でお使いになる場合のみ、デバイスドライバのインストールが必要です。Windows XP、2000、Meでは必要ありません。

●デバイスドライバは弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.iodata.jp/lib/

■本製品の動作環境
本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。
お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

●Windows搭載パソコン

対応機種	USB2.0またはUSB1.1ポートを標準搭載※1、あるいは弊社USBインターフェイスボードを搭載したDOS/Vマシン
対応OS(日本語版)	Windows XP、Windows 2000 Professional Windows Me、Windows 98(Second Edition含む)※2

※1 USB1.1対応USBポートで使用した場合には、USB1.1となります。
※2 Windows 98(Second Edition含む)は事前にデバイスドライバのインストールが必要です。
デバイスドライバのインストール方法についてはインストール手順書をご覧ください。
デバイスドライバおよびインストール手順書は弊社ホームページよりダウンロードしてください。

本製品の仕様

形式番号	USB2-miniRW
インターフェース	USB Specification Rev.2.0/1.1 準拠
電源電圧	DC5V(バスパワーによる供給)
消費電流	500mA(MAX)
動作環境(温度/湿度)	0~40℃ /20~80%(結露しないこと)
外形寸法(mm)	約58(W)x30(D)x11(H)
質量	約13g

1 メディアを入れる

❶ 下図のようにスロット位置・メディアの向きを確認し、スロットに水平にまっすぐに入れます。

注意 ●必ずパソコンに接続する前にメディアを挿入してください。

2 パソコンとの接続

注意 本製品をWindows 98(Second Edition含む)でお使いになる場合は、先にデバイスドライバのインストールが必要です。インストール方法はインストール手順書を参照ください。
●デバイスドライバおよびインストール手順書は弊社ホームページよりダウンロードしてください。
http://www.iodata.jp/lib/

以下はWindows XPの場合です。
Windows 2000/Me/98の場合も同様の手順でお進みください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。
コンピュータの管理者の権限のあるアカウントでログオンしてください。

❷ パソコンに接続する
本製品のキャップを取り外し、パソコンのUSBポートに接続します。

注意
●本製品を接続中に「アクセスランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディア・本製品は抜かないでください。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ機能には対応しておりません。

注意
●USBコネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
●パソコンのUSBポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
●ご利用の環境によっては、USBハブに接続して使用できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続してください。

❸ ハードウェアが認識され、自動的にインストールされます。

以上でインストールは終了です。
次は本製品が正常に認識されていることを確認します。

❹ [マイコンピュータ]をダブルクリックします。

❺ [リムーバブルディスク]が追加されていることを確認します。

3 メディアの読み書き

メディアはリムーバブルディスクとして、ハードディスク等と同様に読み書きできます。

注意
●本製品でメディアのフォーマットは行わないでください。
●フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。

Windows XP SP2の画面例 ▲
(本製品がEドライブに割り当てられた場合)

対応メディア

メモリースティック Duo※1	16Mバイト~128Mバイト(弊社製 MSD-128M、SONY製)
メモリースティック PRO Duo※1	256Mバイト~2Gバイト(SONY製)
miniSDカード※2	16Mバイト~512Mバイト(弊社製 SDMシリーズ、Panasonic製、東芝製、SanDisk製)

※1 マジックゲート機能には対応しておりません。
※2 著作権保護機能には対応しておりません。
最新情報は弊社ホームページまたは弊社総合カタログをご覧ください。

4 本製品の取り外し方

●パソコンの電源が入っていない状態:そのまま本製品を抜いてください。
●パソコンの電源が入っている状態:
取り外す方法はOSにより異なります。お使いのOSの「終了手順」を行って、本製品を抜いてください。

注意
●以下の手順を行わずに本製品を取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。必ず以下の手順を行って本製品を取り外してください。
●以下の手順で取り外せない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。
●アクセスランプが点滅中はメディアにアクセスしていますので、絶対に本製品・メディアは抜かないでください。

注意 ●メディアを取り外す時は、必ず本製品をパソコンから取り外してからメディアを取り出してください。

Windows XPの場合

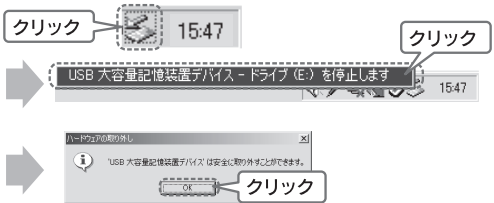
❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックし、表示された「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(x:)を安全に取り外します」をクリックします。

※表示されるドライブ名はお使いの環境により異なります。

❷ アクセスランプが消灯したことを確認して、本製品を取り外します。
❸ 本製品からメディアを取り出します。

Windows 2000の場合

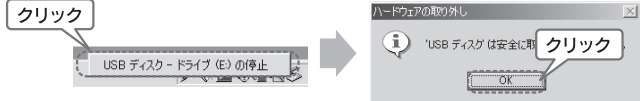
❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックし、表示された「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(x:)を停止します」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

※表示されるドライブ名はお使いの環境により異なります。

❷ アクセスランプが消灯したことを確認して、本製品を取り外します。

❸ 本製品からメディアを取り出します。

Windows Meの場合

❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。

❷ 表示された[USBディスク - ドライブ(x:)の停止]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。
(Xはお使いの環境により異なります。)

❸ アクセスランプが消灯したことを確認して本製品を取り外します。

❹ 本製品からメディアを取り出します。

Windows 98(Second Edition含む)場合

❶ [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

❷ 該当する[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。
※メディアが自動排出されるわけではありません。

❸ アクセスランプが消灯したことを確認して本製品を取り外します。

❹ 本製品からメディアを取り出します。

5 アフターサービス

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷など人身事故の原因となります。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷または周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>
「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

本製品を濡らさないでください。
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度・湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- 水気の多い場所(台所、浴室など)
- 傾いた場所
- 本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用(保管は通風孔をふさぐようにしてください。)
- 腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど)
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません。)

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- そばで飲食・喫煙などをしない
- 本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

● http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

● http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3661**　東京…**03-3254-1085**
※受付時間　9:30〜19:00　月〜金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

修理について

修理の前に

故障かな?と思ったときは、
① 本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
② 弊社サポートセンターへお問い合わせください。
(上記【お問い合わせ】をご覧ください)
明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料修理いたします。ただし、保証規定に記載されている「保証適応外」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、保証規定をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、S/N(シリアル番号)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■本製品
■お買い上げ時のレシート、領収書(ご購入年月日がわかるもの)
■以下の内容を書いたもの
●返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]
●日中にご連絡できるお電話番号
●ご使用環境(機器構成、OSなど)　●故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

保証規定

①保証内容
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ時より12カ月、無料修理または、弊社の判断により同等品への交換いたします。修理のため交換された本体もしくはユニット単位の部品はお返しいたしません。

②保証対象
保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、添付ソフトウェアもしくは添付の消耗品類は保証の対象とはなりません。

③修理依頼
修理を弊社へご依頼される場合は、製品とお買い上げ時のレシートを弊社へお持ち込み頂けますようお願いいたします。送付される場合は、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせて頂きます。また、発送の際は必ず宅配便をご利用頂き、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用頂き、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。

④保証適応外
次の場合は有料修理となります。
1) ご購入日から保証期間が経過した場合。
2) 修理ご依頼の際、お買い上げ時のレシートのご提示がいただけない場合。
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器に起因する故障もしくは損傷。
6) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
7) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
8) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

⑤弊社免責
本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害について弊社は一切責任を負いません。

⑥保証有効範囲
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※本保証書は、本書に明示した期間、条例のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
5) 国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2005.10.27 発行